

(様式2)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番 号	1 3	学校名	宇都宮市立峰小学校
-----	-----------------	----------	-----	-----	-----------

令和6年度 学習指導に関する取組

1 学習指導上の主な実態

(1) 国・県・市の学力調査などから

- ・ 国語の「読むこと」では、4年が3.7ポイント、5年が10ポイント県の平均を上回り6年は国の調査において5.8ポイント、市の調査において6ポイントそれぞれ上回った。また、「話すこと・聞くこと」では、4年が2.2ポイント、5年が3.9ポイント県の平均を上回り、6年は国の調査において3ポイント、市の調査において2.2ポイントそれぞれ上回った。前年度に引き続き日々の学習において、文章の大意を捉えて読むことや事柄の中心を意識して話したり聞いたりすることを意識して指導してきた成果と言える。
- ・ 算数の「数と計算」の領域では、4年が0.6ポイント、5年が10.8ポイント県の平均を上回り、6年は国の調査、市の調査いずれにおいても6.6ポイント上回った。しかし「図形」の領域においては、5年が3.5ポイント県の平均を上回り、6年は国の調査において11.7ポイント、市の調査において3.4ポイントそれぞれ上回ったものの、4年は2.9ポイント下回った。三角定規やコンパスなどの学習用具の使い方を丁寧に指導し、作図する機会を多く設けるとともに、引き続き学習したことを活用して解決を図るような問題場面や学習課題を意図的に設定していく。
- ・ 社会では、6年の市の調査ですべての領域において市の平均を上回った。今後も引き続き、基礎的な事柄をしっかりと押さえるとともに、自分の考えを深めるための話し合い活動を取り入れた授業を展開していく。
- ・ 理科の「物質とエネルギー」の領域では、5年、6年はそれぞれ県、市の調査ですべての領域において平均を上回った。一方4年は県の平均を、「エネルギー」を柱とする領域、「地球」を柱とする領域において、それぞれ1.7ポイント、0.5ポイント下回り、「粒子」を柱とする領域、「生命」を柱とする領域において、1.6ポイント、1.5ポイント上回った。観察・実験を行う際に、予想や計画を立て、学習の見通しをもたせるとともに、観察・実験の結果を基に、判断した根拠や理由を説明できるように指導する。

(2) 国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

- ・ 「授業の始まりには席に着いている」「話を最後まできちんと聞いている」についてはほぼ全学年において肯定割合が90%以上で、市の割合を上回る学年が多かった。引き続き、地域学校園内で共通して、「授業開始前に次の学習準備」「あいさつ（語先後礼）」「返事」を重点的に指導し、よい学習習慣が身に付くように努める。
- ・ 「宿題はきちんとやり、期限までに提出する」は、ほぼ全学年で肯定割合が90%を上回ったが、「授業で習ったことをその日のうちに復習している」の肯定割合は、3・5年生は市の割合を上回っているのに対し、4・6年生は市の平均を下回った。同様に「学習に対

して、自分から進んで取り組んでいる」の肯定割合は、1・3・5年が市の割合を上回っているのに対し、2・4・6年は市の割合を下回った。一方、3～6年の「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」の肯定割合は、すべての学年で市の平均を10ポイント前後上回った。昨年度の実態をうけて、家庭学習への取り組み方の工夫改善に努めるよう指導してきた成果と言える。今後は、家庭学習の意義や進め方などの指導を明確化して、今後より一層家庭と連携し、家庭学習を推進することにより、確かな学力の定着を図る。

(3) 授業等への取組状況から

- ・ 授業への関心・意欲が高く、課題に真面目に取り組んでいる。また、自分の意見を発表しようとする意欲も高く、「自分の考えを根拠をあげながら話すことができる」と回答する児童も多い。3～6年の「インターネットやパソコンを利用して学習に関する情報を得ている」「調べたことをパソコンを使ってまとめることができる」「パソコンを使って、相手に分かりやすく自分の考えや調べたことを伝えることができる」の肯定割合はいずれも市の割合を大きく上回っている。今後もICTを計画的・効果的に活用することにより、児童が学ぶことに興味・関心をもち、見通しをもって活動しながら自力解決ができる力の育成を図っていく。
- ・ 「ものごとをいろいろな視点や立場から考えている」の肯定割合は、3・5年生が市の割合を上回っているのに対し、4・6年生は市の割合を下回った。本年度の学校課題「ともに学び合い、生き生きと活動する児童の育成」とも関連づけさせ、自分の考えをもったうえで、友達と積極的に意見を交流し、自らの考えを修正したり深めたりできるような支援していく。

2 今年度の重点目標

- ・ 基礎・基本の確実な定着と思考力・判断力・表現力等の育成を目指して、教材やICT等を効果的に活用した授業、デジタル・シティズンシップの育成、問題解決的な学習の充実、家庭学習の習慣化、教科担任制の導入に向けた体制作り。
- ・ 「宇都宮モデル」を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の授業を工夫し、「できた」「分かった」が実感できる「楽しい授業」を展開するとともに、個に応じた指導の充実を図る。
- ・ 学習目標の明確化と学習のまとめや振り返りを意識した学習展開の工夫、AI型ドリル等の計画的な活用、学び合える活動等の工夫
- ・ 「学習の約束」を活用した学習の準備、返事、チャイムの合図の順守の徹底
- ・ 読書活動の推進・充実と読解力の育成

3 今年度の取組（「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」に関する取組は文頭に★、「令和6年度指導の重点」に関する取組は文頭に□、授業における取組のうち重点は文頭に○）

(1) 基礎・基本の確実な定着を目指した日々の学習とまとめの学習の充実

- 地域学校園統一の掲示資料の活用や、教材を活用した聞き取り、発声のトレーニング

と適切な評価による話の聞き方、話し方の技能向上（通年）

□○ 教材やＩＣＴ等を効果的に活用した授業・改善，デジタル・シティズンシップの育成，問題解決的な学習の充実（通年）

- ・ ノートの使い方や発表の仕方などの基本的学習技能の定着（通年）
- ・ 「できた」「分かった」が実感できる「楽しい授業」の展開と個に応じた指導の充実（通年）

□ 目標やめあてに基づき学んだことを振り返る活動の充実と，振り返りを意識した学習展開の工夫，ＡＩ型ドリル等の計画的な活用，学び合える活動等の工夫（通年）

□ 「思考力」「判断力」「表現力」の育成を目指した日々の学習とまとめの学習の充実（通年）

○ 「学習の約束」を活用した次の授業の準備，チャイム着席，返事，授業開始終了の挨拶（語先後礼）の徹底（通年）

★□ 「家庭学習の手引き」「家庭学習計画カード」の活用や「家庭学習がんばり週間」の実施による家庭学習の習慣化（通年）

★□ 各種学力調査結果を踏まえての復習やまとめの学習の実施（通年）

（２）読書活動の充実

□ 朝の読書タイムの確実な実施による読書活動の推進（週２回）

□ 読書の推奨や自分の読書活動を振り返る「みね読書人」の取組（通年）

- ・ 読み聞かせボランティア（モーニングブック）による読書活動の推進（月１回）
- ・ 親子で読書を楽しむ「家読（うちどく）」の推進（夏休み・冬休み）

（３）「コミュニケーション能力の育成」を図るための授業研究

□ 自分の考えをもったうえで，友達と積極的に意見を交流し，自らの考えを修正したり深めたりできるよう協働して課題に取り組む態度の育成（通年）

★○ 望ましい人間関係に根差した「考え，議論する」授業研究（通年）

○ コミュニケーション能力の育成を目指した「一人一授業」の公開（通年）

（４）家庭・地域との連携・協力

- ・ 保護者懇談会における学習内容定着度調査，学習と生活についてのアンケートの結果を生かした学習指導の説明及び家庭学習の大切さについての啓発
- ・ 宮っ子ステーション「峰の寺子屋」
- ・ 学校支援ボランティアの活用（学習支援，環境整備，安全指導等）
- ・ 「街の先生」，宇都宮大学のボランティアなどの協力を得た授業や学習支援の実施